

使用事例

対象作物：いちご（紅ほっぺ）
 実施場所：長野県小布施町 O氏
 処 理：平成25年8月のお盆のころから、DINA プロリン1号
 2000倍液を15日おきに葉面散布。
 収 穫 日：平成25年11月28日（収穫日が2週間
 早まった。）



対象作物：ぶどう（ロザリオピアンコ）
 実施場所：山梨県南アルプス市 O氏
 処 理：平成25年8月3日 DINA プロリン1号
 1000倍液1回散布。
 収 穫 日：平成25年9月7日



対象作物：りんご（シナノスイート）
 実施場所：長野県松本市 K氏
 処 理：平成28年8月31日と9月10日の2回、
 DINA プロリン1号 1000倍液散布。
 調査日：平成28年9月23日（花そう葉が立ち、
 葉摘みの省力化になった。近隣園戸比較しても
 着色が良い）



対象作物：カンキツ（不知火）
 実施場所：熊本県宇土市 F氏
 処 理：平成25年9月から11月の期間に、DINA
 プロリン1号 2000倍液を4回葉面散布。
 調 査 日：平成25年12月11日（3L、4L玉中心になった。）



あなたの栽培技術にこれまで経験したこともない
 変革をもたらします！

核酸・アミノ酸（プロリン・メチオニン）及び
 ケルパック66（海藻エキス）が主成分の

ディーエヌエイ
DiNA プロリン1号・2号・3号



ロイヤル インダストリーズ株式会社
 〒201-0003 東京都狛江市和泉本町1-15-19
 TEL 03(3489)1408 FAX 03(3489)9308

特長

- 原料の1つである鯉エキスには核酸の他に18種類のアミノ酸が含まれており、作物の旺盛な生育、品質向上に寄与します。
- アミノ酸のプロリン、メチオニンには花芽の充実、着蕾数の増加作用、着果率を高める働きがあるとされています。また、栄養生長から生殖生長への転換を助け、着色・減酸を早め、旨味を引き出す効果も期待できます。
- 海藻エキスのケルパック66には生育を旺盛・健全にし、増根作用と光合成能を高める働きがあります。これは海藻由来の生理活性物質の働きによるものですが、ひとたび核酸・プロリン・メチオニンと作用し合うと更なる相乗効果が期待できます。

肥料成分量 (%)

名称及び肥料登録番号	チッソ	リン酸	カリ	摘要
1号(一般作物用)(生第100559号)	3.0	5.5	1.5	核酸、プロリン、メチオニン、ケルパック66の全主要成分を含む
2号(温州みかん専用)(生第93773号)	6.0	5.5	1.5	全主要成分からケルパック66を減量させた製品
3号(一般作物用)(生第93774号)	5.5	4.5	1.0	全主要成分からメチオニンを除いた製品

使用方法

生育初期はケルパック66を使用し、期の途中から着色向上、糖度アップ、果実肥大等を狙ってDINAプロリン処理に切り換えることをお勧めします。

対象作物	使用目的	使用時期	使用製品と使用倍率・使用回数
りんご	生理落果防止 幼果の肥大促進	落花直後	ケルパック66 2000倍液を散布する。
	新梢伸長を30cm位で止め、葉を小振りにし、受光態勢をよくするため	開花1ヶ月後	ケルパック66 1000倍+色一番E 1000倍混合液を散布する。
	果実肥大促進、旨味・甘味・コク味強化、着色増進、 葉摘み作業省力化で着色増進	6月以降～収穫1ヶ月前まで	DINAプロリン1号 1000～2000倍液 を月1回散布する。
	緊急着色のため	直ちに	これまでDINAプロリン1号を処理していない園で着色が遅れている場合は、直ちに DINAプロリン1号 1000倍+色一番E 1000倍混合液 を1回散布します。(鮮やかな赤色になるため商品価値が高く、果実の硬度は高く軟化しにくいと評判です。)
ぶどう	新梢の徒長防止、花振り防止	新葉7～8枚時とその1週後	ケルパック66 1000倍+色一番E 1000倍混合液を新葉7～8枚時とその1週後に、それぞれ散布する。
	着色向上、糖度アップ、果実肥大	落花直後～収穫1.5ヶ月前まで	ケルパック66 2000倍+ DINAプロリン1号 2000倍 混合液を月に1回散布する。(無核果のブドウにはジベ処理前に散布すると有核果になる恐れがあるためジベ処理後に散布すること。)
		収穫の1.5ヶ月前	DINAプロリン1号 1000倍液 1回散布する。(本散布で果実の大きさが2倍近くに肥大する品種もあります。)
梨	展葉促進、初期肥大促進	満開後～6月上旬	ケルパック66 2000～3000倍液を10～14日間隔で2～3回散布する。
	果実肥大、熟期促進	6月中旬～収穫1ヶ月前	DINAプロリン1号 2000倍液 を10～14日間隔で3～4回散布する。
桃	果実肥大、着色向上、糖度アップ	落花後～収穫1ヶ月前まで	ケルパック66 2000倍+ DINAプロリン1号 2000倍 混合液を3～4週おきに3～5回散布する。
サクランボ	果実肥大、着色向上、糖度アップ、収量アップ	落花後～収穫1週前まで	ケルパック66 2000倍+ DINAプロリン1号 2000倍 混合液を2～3週おきに3～4回散布する。

対象作物	使用目的	使用時期	使用倍率と使用回数
柿	花芽充実 生理落果防止	5月上中旬と7月中旬	ケルパック66 1000倍+ DINAプロリン1号 2000倍液 各1回ずつを散布する。
	果実肥大 着色向上	8月下旬～9月上旬	ケルパック66 2000倍+ DINAプロリン1号 2000倍液 を1回散布する。
ブルーベリー	初期生育促進	満開後から	ケルパック66 3000倍液を7～10日おきに2～3回散布する。
	果実肥大、熟期促進	果実が色付き始めてから	DINAプロリン1号 2000倍液 を7～10日おきに2～3回散布する。
中晩柑類	隔年結果防止、大玉果実の生産、糖度アップ 毎年2～6トン/10a採りのため	開花2ヶ月前～収穫1ヶ月前まで	ケルパック66 2000倍+ DINAプロリン1号 3000倍 混合液を1ヶ月おきに8～10回散布する。
温州ミカン	耐寒性の向上、落葉防止、花芽の充実	12月～4月	DINAプロリン3号 1000～2000倍液 を2回散布する。
		開花2ヶ月前～6月まで	ケルパック66 2000倍+ DINAプロリン1号 3000倍 混合液を1ヶ月おきに4～5回散布する。
	着色向上、糖度アップ、減酸	7月～9月	DINAプロリン2号 2000倍 混合液を2回散布する。リン酸が入っているためホタル尻時期の散布は避けること。(果皮のヤケ症回避のため)
その他果樹	果実肥大、着色促進	収穫の2ヶ月前から	DINAプロリン1号 2000倍液 を3～4週あけて2回散布する。
果菜類(トマト、きゅうり、ピーマン等)、花卉類	着蕾数の増加、花芽の充実、生理落果防止、旨味・甘味・コク味強化	着蕾1～2週前から	果菜類には着蕾1～2週前にケルパック66 2000倍+ DINAプロリン1号 2000倍 混合液を1回、その後も1ヶ月おきに継続散布する。花卉には同混合液を1ヶ月おきに2～3回散布する。
いちご	着蕾数増加、花芽の充実、果実肥大	8月中旬より収穫終了まで	ケルパック66 2000倍+ DINAプロリン1号 2000倍 混合液を2～4週おきに散布する。
豆類	着莢数増加、肥大向上	横枝の出始め時と開花始め	DINAプロリン1号 1000倍液 を各1回ずつ散布する。

★ケルパック66、色一番E…当社製品。ご使用をお勧め致します。

包装規格

1号、2号と3号ともに500ml×20本/ケース、1ℓ×15本/ケース、5ℓエーステナー×4本/ケース。

注意事項

- メチオニンが沈殿しておりますので、沈殿物が無くなるまでよく振ってからご使用下さい。(逆さにして振ると、沈殿物がなじみやすいです。沈殿物が拡散しても透明にはなりません、希釈するときれいに溶けますので、ご安心下さい。)
- 本製品には濃縮100%鯉エキスが含まれているため、冬場など気温の低い時に固まり、容器から取り出し難くなることがあります。そのような場合は、容器をお湯につけて溶かしてからご使用下さい。(エーステナーの場合は、段ボール箱からプラスチック容器を取り出しお湯につけてください。)
- 肥料・農薬との混合可否：ほとんどの肥料・農薬と混合可です。ただし、肥料や農薬自体が薬害がやすいものは、混用を控えてください。
- ボルドー液との混用散布は、薬害がでる恐れがあるので避けてください。本材をボルドー散布園に散布する場合は、薬害回避のため、必ず炭酸カルシウム(石灰)を希釈液100ℓにつき一握り～二握り(50～100g)加用してください。
- 石灰硫黄合剤との混用は有害ガスが発生する可能性があるため避けてください。
- この肥料には動物由来たんぱく質が入っていますから、家畜等の口に入らないところで保管・使用してください。